

# 公明党要望項目一覧

## 令和元年度9月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
<p>◎国政・地方選挙の投票率向上を強く推進すること</p> <p>7月の参議院選挙において、鳥取県の投票率は49,98%と3年前の選挙に比べて約5,4%低下している。4月の知事・県議会選挙、昨年の統一外選挙においても投票率が大幅に低下している。特に、若者の投票率の低下、中山間地域などで交通が不便なため、また投票所の減少による高齢者等の投票率低下が目立っている。投票率向上に向けた調査を実施し投票率が上がるように推進すること。</p>	<p>若年層を対象とした投票率向上に向けた取組としては、県選管が教育委員会、市町村選管等と連携して高校などで実施している選挙出前講座に加え、短大・大学の入学式や新社会人研修の機会をとらえた啓発を始めたところであり、引き続き選挙の意義や重要性について積極的に啓発していく。</p> <p>また、高等学校では、生徒の投票行動を起こす基盤となる社会参画の意欲や態度を養うため、地域と連携した課題解決型の学習に積極的に取り組んだり、今夏の選挙前には、校内での啓発活動（SHRでの呼びかけや校内掲示板の活用、PTA作成の幟活用等）を各学校で実施したところである。今後も主権者教育を推進し、政治、経済や地域社会への関心を高めるとともに、選挙の大切さについての理解を深めることで、若者の投票率の向上に努めていく。</p> <p>投票所への移動支援事業の充実強化、期日前も含めた投票所の増設については、県においてもこれに要する経費を確保し、県選管から実施主体である市町村選管に対し働きかけを行うとともに、商工関係団体を通じ、各事業所における投票の声かけなどの取組、住民などを対象とした出前説明会などを行っている。今後も、県選管と連携しながら、投票率向上に向けて積極的に取り組んでいく。</p>
<p>◎米子ーソウル便の安定就航</p> <p>エアソウルが運航している米子ーソウル便が、日韓関係の悪化により韓国人の利用が団体客を中心に急減、9月16日より週3往復に減便となる。路線を残すこと、さらに週6往復復活へ向けた働き掛けに取り組むこと。</p>	<p>米子ソウル便は、円高ウォン安・日韓関係の悪化による団体旅行客のキャンセル等利用が低迷している。このような状況の中でも韓国旅行会社が販売しやすい形での連携やエアソウルと連携したイン・アウトキャンペーンといったインバウンド・アウトバウンドの誘客活動に取り組むことで、利用客の確保を図りながら、エアソウルに対して週6便運航継続を働き掛けていく。</p>
<p>◎県内2空港のさらなる利用促進と、県内観光の振興のため、以下の対策を進めること。</p> <p>①ダブルトラック化をするために、LCC便誘致をすすめること。</p> <p>②関西空港とを結ぶチャーター便を誘致すること。</p>	<p>県内空港の利用促進及び観光振興の観点から、ダブルトラック化に向けて、LCCを含む航空会社に対し、新たな路線の開設を粘り強く働きかけていく。</p> <p>また、関西空港との航空便についても、ワールドマスターズゲームズ2021関西や大阪万博（2025年）を見据え、航空会社に対してチャーター便の実施を粘り強く働きかけていく。</p>

要望項目	左に対する対応方針等
<p>◎失語症者向け支援者育成の推進</p> <p>失語症は、大脳の言語中枢が損傷を受けることにより言葉の力全般が低下する障害。聴く、読む、話す、書くことが困難になる。これまで全く問題のなかったコミュニケーションが難しくなり、まるで知らない外国に一人であるような感覚になるということだ。鳥取県と鳥取県言語聴覚士会は本年度より失語症者の意思疎通をサポートすることができる人材として「失語症者向け意思疎通支援者研修」を行い支援者の育成に取り組んでいる。</p> <p>① 今後も失語症者向け意思疎通支援者研修を継続して行うとともに、東部・中部での意思疎通支援者の育成を推進すること。</p> <p>② 失語症者向け意思疎通支援者研修に必要な予算を確保すること。</p> <p>③</p>	<p>失語症者向け意思疎通支援者養成研修については、今年度からを開始したところであり、まずは支援環境が進んでいる西部地区で実施しているところである。来年度以降は東部・中部地区での開催に努めるとともに、今年度の実施状況を踏まえ、所要の経費について来年度当初予算に反映していく。</p>
<p>◎インフルエンザワクチン接種への支援</p> <p>一般的な接種料金は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども（6か月以上13歳未満） 約2,500円/回</li> <li>・大人（13歳以上） 約3,000円/回</li> <li>・高齢者（65歳以上） 約1,700円/回</li> </ul> <p>県内13市町村が補助を実施している。そのうち鳥取市では、6ヶ月～未就学児に上限2,300円/回の補助をおこなっている（1回目のみ）。現場での要望も多く、県内全域での実施と負担軽減をすすめるため、実施自治体への県支援をおこなうこと。</p>	<p>地域全体でインフルエンザを予防していくためには、定期接種化が有効である。すでに高齢者については定期接種対象とされ交付税措置が講じられており、他の年代についても定期接種化に向けてワクチン有効性についての調査研究を実施していくよう本年度8月に国に対して要望した。</p> <p>なお、市町村が実施する任意予防接種に係る費用助成（対象者は18歳以下。インフルエンザワクチンを含む。）については、「とっとり版ネウボラ推進事業費補助金」において補助対象としている。</p>
<p>◎鳥取砂丘コナン空港について</p> <p>①鳥取砂丘コナン空港とマリニピア賀露を合わせて、「ツインポート」と一般名称的に呼んでいるが、魅力的な呼び名を全国に公募すること。公募は工夫をして、知名度アップも同時にはかること。</p>	<p>今年度の新たな取組として、ツインポートの食やアクティビティの魅力を掲載した周遊マップの作製・配布、デジタルサイネージによる両港相互のPRを行うこととしており、ツインポートの魅力を情報発信する取組を強化することとしている。</p> <p>また、ツインポートの全国的な知名度を高めるため、いただいたアイデアを参考に情報発信をさらに強化していきたい。</p>
<p>②暇つぶしもできる、また周遊できる空港にすること。</p> <p>そのためにも、空港周辺の整備、特にかっこ空港ロード周辺の整備を進めること。</p>	<p>空港の魅力をさらに高めるうえで、空港周辺やかっこ空港ロード周辺の魅力向上も重要であることから、空港利用者へのアンケート調査やツインポート懇談会等で意見を伺い、対応を検討してまいりたい。</p>

要望項目	左 に 対 す る 対 応 方 針 等
<p>【個別の地域要望】 (再要望) ◎国道 431 号線、西福原西交差点信号機に右折信号機の整備</p> <p>この交差点は周囲に量販店や住宅街などもあり歩行者や自転車なども目立つ。また幹線道路であり、トラックなどを含めた車両の交通量が多く、そのため右折時の事故や追突も起こりやすくなっている。渋滞緩和と事故防止を進める上で早急に右折信号機を設置すること。</p>	<p>要望交差点における交通の安全及び円滑化対策については、右折矢印灯器の設置などの有効な対策について、現地及び周辺の交通状況や交通事故の発生状況等を総合的に見ながら検討しているところである。</p>